

## 政治経済英語Ⅱ

科目ナンバリング ENG-104

選択 2単位

寺川 隆一郎

### 1. 授業の概要(ねらい)

「政治経済英語Ⅰ」に引き続き、本授業でも、「多読」用の教材を使い、まとまった量の文章を読み切る経験を積んでもらう。指定教材は、政治経済、歴史、社会問題をテーマにしたものである。高校まででは触れることの少ない、時事英語や経済英語に触れ続けることで、実際の英文を読む力を養うことを目指す。また、単に読解するだけでなく、英文を知識や情報を得るツールとして活用するために、自分はそのテーマについてどのような意見を持ったのかを明確にする、「批評的読解(critical reading)」にも取り組んでもらう。

教科書は、以下の候補から数冊を初回授業時に指定する。

### 2. 授業の到達目標

英語で書かれた政治経済分野の文章を、辞書に頼らず大意をつかめるようになる

政治経済分野で頻出する英語表現や概念、単語を習得する

政治経済分野の論争的テーマについて、提起された主張や論証を分析し、自分なりの意見を表現できるようになる

### 3. 成績評価の方法および基準

確認テスト30%、期末テスト40%、平常点30%

### 4. 教科書・参考文献

教科書

小林佳代(ジャイルズ・マリイ訳) 『The Japanese Economy 日本の経済』 IBCパブリッシング

トム・クリスティアン 『The Mark Zuckerberg Story Facebookを作った男: ザッカーバーグ・ストーリー』 IBCパブリッシング

Young, James Webb A Technique for Producing Ideas McGraw-Hill

参考文献

大西泰斗、ポール・マクベイ 『一億人の英文法―すべての日本人に贈る「話すため」の英文法』 東進ブックス

### 5. 準備学修の内容

毎回の授業までに、教科書の指定された範囲を通読する。

毎回の授業では、2,000ワード(A4ダブルスペースで10枚)程度の長文を扱う。英文の難易度は英検2級レベル以上のものを予定している。英検準1級レベルの人が通読するだけでも30分弱かかる量と難易度である。自分の英語力と相談の上、十分に時間をかけて予習をしてくること。

### 6. その他履修上の注意事項

定員50名。超過する場合には抽選を行う。

英語の構文や、政治経済の概念・仕組みなどで不明な点があれば、授業時に質問すること。積極的な発言は平常点に加算する。

### 7. 授業内容

- |        |                            |
|--------|----------------------------|
| 【第1回】  | ガイダンス                      |
| 【第2回】  | 起業家論(1)                    |
| 【第3回】  | 起業家論(2)                    |
| 【第4回】  | 起業家論(3)                    |
| 【第5回】  | 起業家論(4)                    |
| 【第6回】  | 起業家論(5)                    |
| 【第7回】  | 確認テスト                      |
| 【第8回】  | 政治経済論(1)                   |
| 【第9回】  | 政治経済論(2)                   |
| 【第10回】 | 政治経済論(3)                   |
| 【第11回】 | 政治経済論(4)                   |
| 【第12回】 | 英文記事に挑戦(1)                 |
| 【第13回】 | 英文記事に挑戦(2)                 |
| 【第14回】 | 英文記事に挑戦(3)(LMSによるオンデマンド形式) |
| 【第15回】 | まとめと期末試験                   |